

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和元年11月14日（木）

### 2 確認箇所

G6タンクエリア

### 3 確認項目

- (1) G6タンクエリアD9タンク天板損傷
- (2) G6タンクエリアCタンク群の水位低下

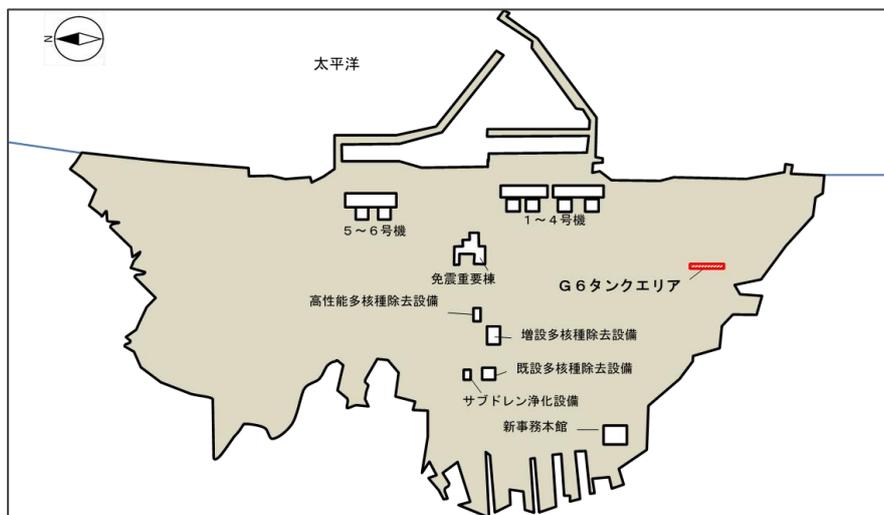
### 4 確認結果の概要

#### (1) G6タンクエリアD9タンク天板損傷について

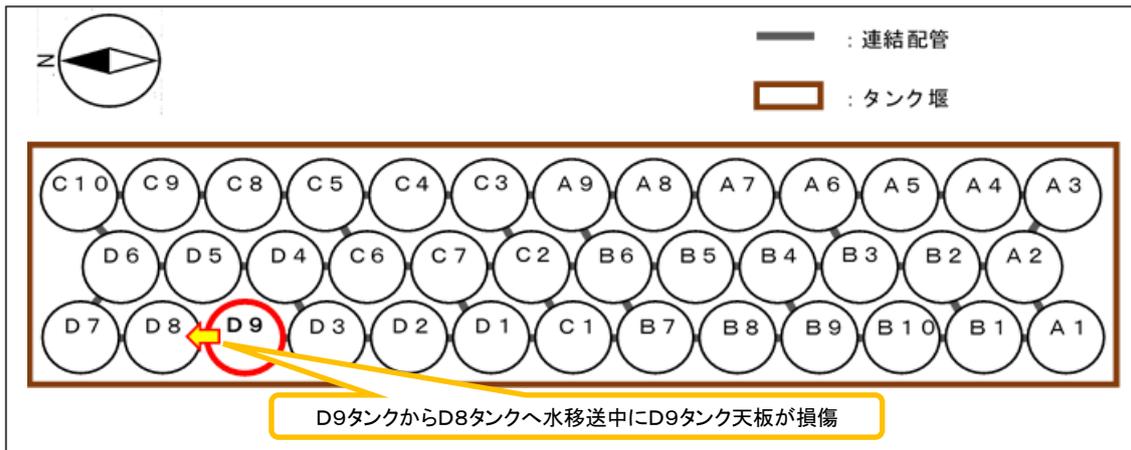
本年10月8日、D9タンクからD8タンクに多核種除去設備処理水を移送した際、D9タンク上部から異音が発生し、点検の結果、天板部に損傷が確認される事象が発生した。原因調査の結果、吸気・排気を行うベント管の接続面に養生テープが付いた状態であることが確認され、その状態でタンク内の水を移送したため、タンク内の圧力が低下し、タンク天板が損傷したものと推定された。（図1、図2）

東京電力からタンクの継続使用に向けたタンク健全性評価方法等について聞き取り調査を行うとともに、現場の状況を確認した。

- ・東京電力によると、タンクの胴板の健全性評価について、解析による評価で問題のないことは確認しているが、解析結果の妥当性確認のため、今後、内径寸法計測を実施するとのことであった。
- ・D9タンク周辺では内径寸法計測に向けた準備作業が行われていた。（写真1）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) G6タンクエリアD9タンク天板損傷事象発生時の状況図



(写真1-1)  
G6タンクエリア外観  
(北西側から撮影)



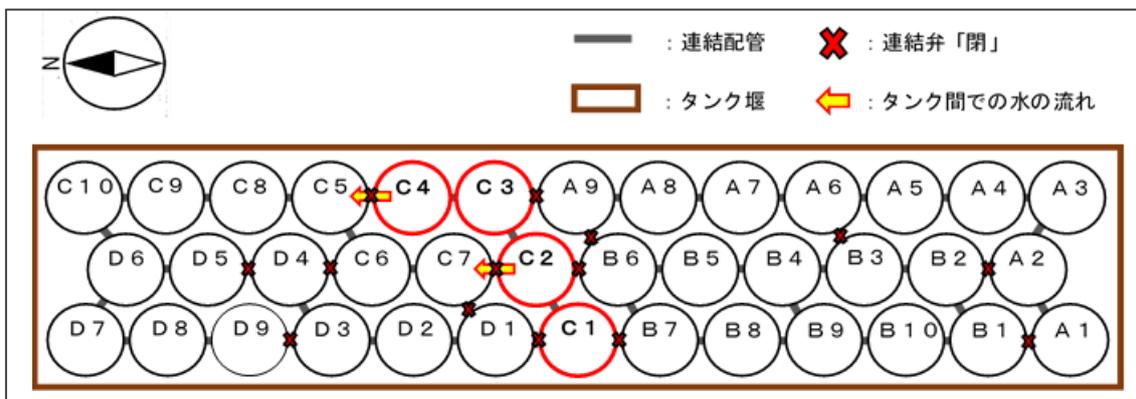
(写真1-2)  
D9タンク周囲の状況

(2) G6タンクエリアCタンク群の水位低下について

本年10月2日、G6タンクエリアCタンク群の水位が低下していることが確認された。調査の結果、当該タンク群内で連結している空状態のC5タンク、C7タンク内に溜まり水が確認されたことから、原因並びに今後の対策について東京電力から聞き取り調査を行うとともに、現場の状況を確認した。なお、溜まり水の量とCタンク群の水位低下量がほぼ同量であることが確認され、外部への水の漏洩はなかった。(図3)

- ・東京電力によると、原因としては、タンク連結弁の締め付け不足であり、連結弁の増し締めにより、G6タンクエリアCタンク群の水位低下は停止したとのことであった。(写真2)

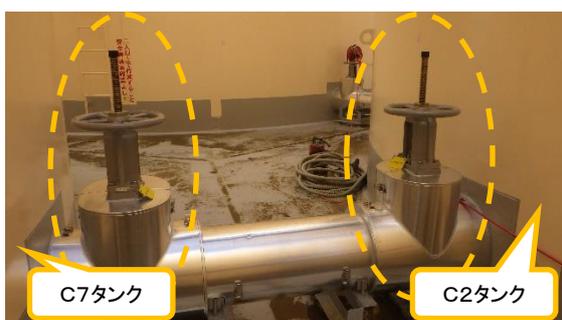
- ・対策として、今後、タンク設置の主管グループからタンクを運用する主管グループに設備を移管する際に、弁を適切に締めるとのことであった。



(図3) G6タンクエリアCタンク群の水位低下事象発生時の状況図



(写真2-1)  
C4タンクとC5タンクの連結弁  
(黄丸の箇所)



(写真2-2)  
C2タンクとC7タンクの連結弁  
(黄丸の箇所)

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。